



ひばい組通信



2022. 6. 1(水)

GW前にJAあぐりで買った夏野菜の苗。その日から、毎日、大切に育て、生長を見守っています。「野菜たちに名前をつけたい」という子ども達の声から、グループごとに野菜に名前を付けました。どのグループもナイスネームセンスで、名前を付けたことで更に愛情をもって育てている姿が見られます♡

“野菜さんたち、大きくなるにはどうしたらいいのかな”という話を子ども達に投げかけると、「お水！土！太陽！愛情！」と知っていた子ども達。そこで、これから暑くなってくるため、水を1日にどれだけあげるかも子ども達と考え、朝と夕方に決めました。園庭へ遊びに行った時には「野菜ちゃんにお水あげよう〜」と畑へ行き、「大きくなーれー」「この子小さいからたくさんお水あげなきゃ」と野菜に声を掛ける心温まる姿も見られます。



大変！きゅうりの葉っぱが 食べられてる！

毎日野菜を観察している中で、ある日の夕方、水やりへ行った子たちが、あることに気づきました。「先生大変や！葉っぱ食べられとる！きゅうりの葉っぱだけ食べられてる！」と大騒ぎ。虫を触れる子が、急いで虫を追い払ってくれました。「皆にも言わなきゃ！」と次の日に朝の会でみんなに報告。大切に育てている、野菜だからこそ、子どもたちはこの問題についてたくさん考え、どうしたらいいか悩んでいました。

「きゅうりの葉っぱだけ
食べられてた。
どうしたらいい？」

「虫さんだっでご飯食べたいのに、ちょっとくらいいいじゃん。」

「えーでも食べてほしくない。虫よけスプレーする？」



「わかった！虫さん来ないように、袋掛けようよ！」

「袋掛けたら、お水あげられないよ。じゃあ、袋に少し穴開ける？」

『じゃもおくん』と名付けたじゃがいも。JAあぐりの方に、植える時期が少し遅いといわれていたけれど、元気いっぱい育てていけるよ！

友達と意見を出し合いながらあーでもない。こーでもないと言いながら長い時間話し合いました。保育者も一緒にその場で子どもたちの考えを聞きながら、話し合っただけで考える力や、どうしたいか考える力が子ども達に少しずつ見られ、嬉しく思いました。このように友達の前に立って発表することや、考えを言うことは恥ずかしいという子もたくさんいますが、友だちと一緒にいることで、恥ずかしながらも言うことが出来る子もいます。それが子どもたちの自信と繋がったりしていきます。このような機会も日々の保育の中で取り入れています。4月の頃から見ると、「これ友達に見せたい！言いたい！」と言う子が増えてきていますよ。

肥料ってなに？野菜のご飯なの？

バスの運転手、大阪さんが肥料をまいてくれました。「先生これ何？」「野菜のご飯なの？」と興味津々の子ども達。近くで見ていることにしました。



「どうやって野菜さんたち食べるのかな。葉っぱから食べるかな。土から食べるのかもしれない！」



野菜を育てる中で、虫との出会いがあったり、花が咲くことを知ったり、様々な発見と出会いがあります。又、その中で子ども達の面白い考えや発言も聞かれます。子ども達の気づき、発見を保育者も一緒に共有しながら活動を楽しんでいきたいと思えます。

「お水かけると思う。そしたらこの白色のつぶつぶがしゅわしゅわ〜ってなって溶けるんじゃない？そして、野菜さんの根っこが食べてくれるんや」
☆どのグループも、『水をかけたらしゅわしゅわになる』という意見が多かったです。